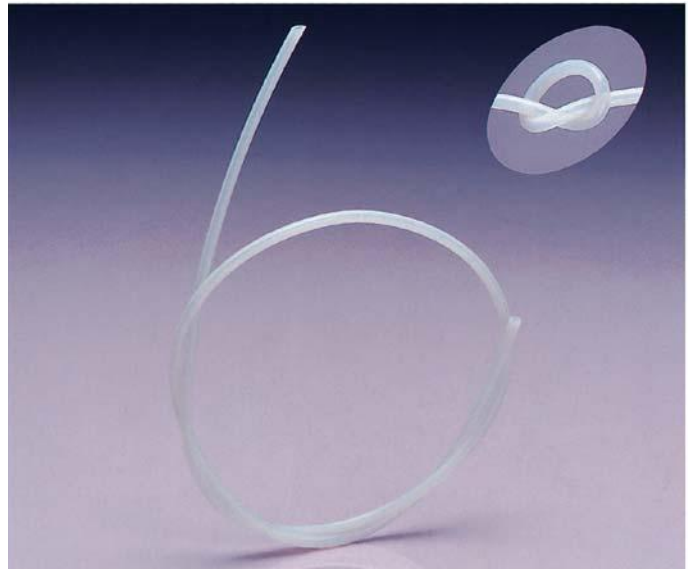


ナフロン®BTチューブ

ナフロンBTチューブは、PTFEチューブの一種で、PTFEチューブに比べ柔軟性、透明性に優れています。曲げやすく、座屈しにくい狭いスペースの配管用に適しています。



■ 特長

- 曲げやすく、小さい曲げ半径でも座屈しにくいです。
- 通常のPTFEチューブと比較し、透明性があります。

■ 仕様 (参考)

- 使用温度範囲：-40℃～260℃
- 最高使用圧力：20ページをご参照ください。

■ 注意事項

- 製造ロットの違いにより若干色調が異なる場合がありますが品質上問題ありません。

■ 特性

● ナフロンBTチューブの常温破壊圧力と最小曲げ半径

内径×外径 (mm)	常温破壊圧力 (MPa)	最小曲げ半径 (mm)
2×4	11.8	10
3×6	11.8	10
5×8	7.4	25
7×10	5.0	40
9×12	3.9	55
1.59×3.17	11.7	5
3.17×6.35	9.8	10
6.35×9.52	6.0	30
9.52×12.7	4.0	55

測定機関：ニチアス

※上記数値は実測値であり規格値ではありません。

※最小曲げ半径は、実測値の1.2倍の数値を示します。

■ 標準寸法

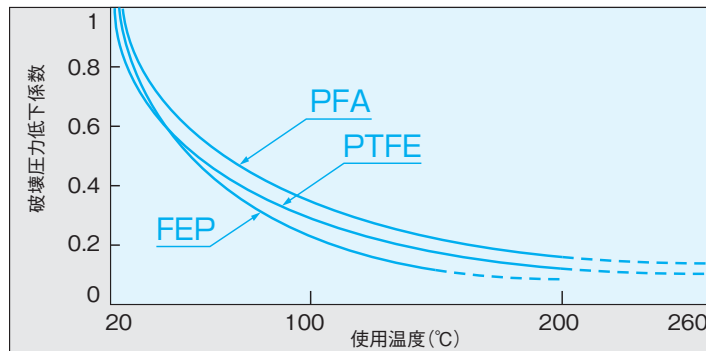
呼び径	呼び寸法 (mm)		外径 (mm)		肉厚 (mm)		長さ (m)	
	内径×外径	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	
1/8 B	1.59×3.17	3.17	±0.10	0.79	±0.10	10	+5% -0%	
1/4 B	3.17×6.35	6.35		1.59				
3/8 B	6.35×9.52	9.52		1.59				
1/2 B	9.52×12.70	12.70		1.59				
EA125FF-4 4 A	2.00×4.00	4.00	±0.10	1.00	±0.10	10	+5% -0%	
EA125FF-6 6 A	3.00×6.00	6.00		1.50				
EA125FF-8 8 A	5.00×8.00	8.00		1.50				
EA125FF-10 10 A	7.00×10.00	10.00		1.50				
EA125FF-12 12 A	9.00×12.00	12.00		1.50				

※納期 (在庫の有無) についてはご確認ください。

チューブの最高使用圧力(参考)

破壊圧力低下係数

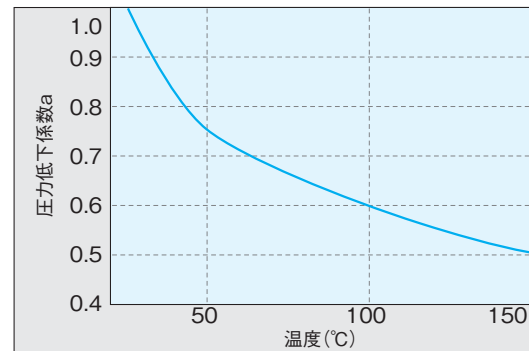
ナフロンPFA/FEP/PTFEチューブ



※上記数値は実測値であり規格値ではありません。

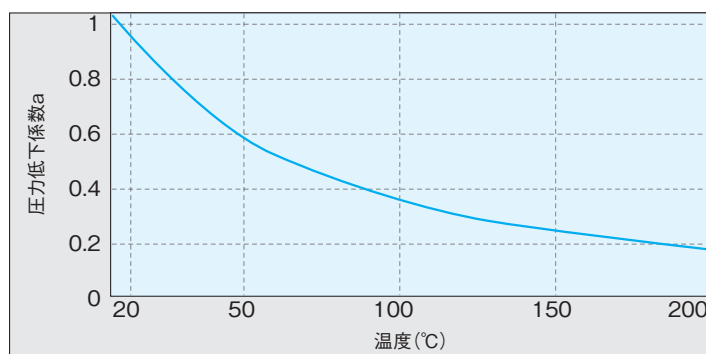
測定機関：ニチアス

ナフロンDPLチューブ



測定機関：ニチアス

ナフロンRPLチューブ



測定機関：ニチアス

下記の計算式で求められる $P_{U,T}$ 以下の圧力でご使用ください。

$$P_{U,T} = S \times a \times P_{R,T}$$

- チューブの常温破壊圧力
- 破壊圧力低下係数
※右表より、チューブ素材の使用温度における破壊圧力低下係数を読みとります。
- 安全性 (1/3~1/5)
※流体の種類(気体・液体)や危険性、衝撃圧の有無により、通常1/3~1/5の安全率をとります。
- 使用温度での最高使用圧力

本カタログに記載されているふっ素樹脂の略称

PTFE	ポリテトラフルオロエチレン(4フッ化)
PFA	テトラフルオロエチレン・パーフルオロアルキルビニルエーテル共重合体
FEP	テトラフルオロエチレン・ヘキサフルオロプロピレン共重合体(4.6フッ化)

禁止事項

1. 生体組織、体液などに接触する用途へは絶対に使用しないこと。
2. 人体への投与（誤飲含む）は絶対に行わないこと。

注意事項

製品本来の機能を保持させ、安全にご使用頂くため、次の事項を厳守してください。

1. カタログに記載の用途や目的以外には使用しないこと。
2. カタログ記載の温度範囲で使用してください。
3. 最高使用温度（参考）を超えて加工する場合は、ふっ素系の分解ガスを生ずるため、換気を十分に行い、分解ガスを吸入しないようにすること。
4. 製品破損・漏れの原因となるため、火焰を近づけたり溶接は行わないこと。
5. 本製品を取り扱う際はSDS（安全データシート）をご参照ください。
6. 廃棄する場合は「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に従って処理してください。

製品取り扱い上の注意事項

本製品の本来の機能を損なわないよう、下記事項をご理解の上ご使用ください。

1. カタログ内の技術データ（製品の能力を表すもの）は全て実験より得られた実測値や代表値であり、保証値ではありません。ご使用の用途に応じて綿密な検討をされてからのご使用を推奨します。
2. 酸やアルカリ、毒性の強い流体については特に綿密な検討が必要です。ご使用の際は、当社技術担当までご連絡ください。
3. 素材の性質上、繰り返し荷重や極端な集中荷重、曲げ荷重については耐性に影響を及ぼす恐れがあります。ご使用にあたっては必ず事前に使用環境の適合性を確認の上ご使用ください。
4. ふっ素樹脂は特性上、自己潤滑性を有しますが、摩耗は進行します。繰り返し摩擦が発生する箇所には、定期的な交換を推奨します。
5. ふっ素樹脂は特性上、使用環境によっては硬化や寸法変化が生じたり、流体が浸透・透過するなど一般的な仕様にあてはまらない場合があります。ご使用にあたっては必ず事前に使用環境の適合性を確認の上ご使用ください。

上記に関わらずご不明な点などございましたら、当社営業担当または技術担当までお問い合わせください。

その他

本製品を熱交換器の部品として使用し、輸出する場合は、安全貿易管理に抵触するおそれがありますので、お問い合わせください。